

令和7年度 御影小中一貫教育推進委員会 活動報告

御影地区事務局

令和8年1月28日

1 本年度の重点

小学校と中学校の教育活動を、義務教育9年間の連続性の中でとらえ直し、計画的・系統的な指導を推進する。

2 めざす15歳の子ども像

- ①地域に愛着や誇りをもつ子ども
- ②やさしさや思いやりと倫理観をもち響き合って生きる子ども
- ③社会の作り手となる「生きる力」を身に付けた子ども

3 推進委員会組織

委員長	中学校長	天野 健治（生活部付）
副委員長	小学校長	佐藤 貴光（学習部付）
事務局長	中学校教頭	宮脇 秀士（研修部付）
事務局次長	小学校教頭	伊藤 健（研修部付）
委員	小学校教諭	保苅 敬貴
	中学校教諭	西 貴章

<推進委員会組織>

学習部	生活部	研修部
部長 梅原 美保（中）	部長 大久津 誠二（小）	部長 高原 悠輔（中）
副部長 久萬 悠子（小）	副部長 西 貴章（中）	副部長 西川 里子（小）
部員 伊藤 綾美（小）	部員 山川 奈緒美（小）	部員 保苅 敬貴（小）
栗林 壺地（小）	久朗津 祥江（小）	田邊 優子（小）
筒井 美有（中）	谷 薫（中）	吉田 香代子（中）
藤岡 恵美（中）	泉野 元気（中）	水谷 由美（中）
	中村 暁子（中）	
	鳥丸 春菜（中）	部付 伊藤 健（小教頭）
部付 佐藤 貴光（小校長）	武藤 織恵（中）	宮脇 秀士（中教頭）
	部付 天野 健治（中校長）	

4 各部会報告

【学習部】

〔令和7年度活動報告〕

（１）9年間連続した教育課程の編成

教科書会社のデータを集め、それぞれ整理した。

（２）乗り入れ授業

【１回目】

日時：9月30日（火）

場所：御影中学校体育館

内容：文化祭合唱曲『歓喜の歌』『時の旅人』『水平線』の3曲に取り組む中学生の姿を参観。

〔小学校学習発表会〕や〔中学校の授業とは…〕など、今後につなげてもらう機会とした。

対象児童生徒：御影小5年生（14人）6年生（16人）御影中全校生徒（76人）

【２回目】

日時：12月12日（金）

場所：清水町アイスアリーナ

内容：保健体育（アイスホッケー）の授業を一緒に行った。

対象児童生徒：御影小6年生、御影中1年生

【３回目】

日時：2月5日（木）

場所：御影中学校

内容：数学⇒小学6年向けの1日入学の日に中学校教員が授業を行う。

◆今年度も、2学期に音楽の交流授業、保健体育の出前授業、3学期に数学の出前授業と計3回実施。来年度も無理なく続けられるもので、引き続き検討していく。

（３）地域の特色ある教育活動～「十勝清水学」～

昨年度作成した総合的な学習の時間「北海道十勝清水学」系列表をもとに、その中にある〔産業・施設〕に今年度はしばって、どんなことをしているのかなど詳細をまとめた。

〔取組の内容〕

月	取組	月	取組
4	第1回推進委員会（18日） 部長・副部長選出 取組内容の確認など	10	
5	第2回推進委員会（13日） 各担当の計画	11	御影小中合同授業研究大会（11日）
6		12	第4回推進委員会（9日） 各担当の反省・まとめ・来年度へ 12日出前授業：保健体育
7		1	
8		2	5日出前授業：数学（入学説明会）
9	第3回推進委員会（16日） 各担当の進捗状況の交流 30日（火）出前授業：音楽（御影中）	3	

【生活部】

[令和7年度活動報告]

(1) 長期休業中の生活のきまりの確認について

内容面で削除、追加、補正なしで確認。夏季・冬季発行

(2) 児童会と生徒会の交流について

5月16日小中合同地域清掃を行った。別紙

(3) 児童生徒の実態交流について

①児童会・生徒会の活動

小学校の書記局も中学校の生徒会も、公約を実行し学校をより良くするという役割は共通している。専門委員会の活動も同様。ただし、総会の扱いは異なり、小学校は活動計画の審議のみで終了の場は設けないが、中学校は締めくくりまで行っている。

②役員選出の違い

小学校では選挙や信任投票で役員を選ぶが、中学校では立候補者が少なく選挙が成立しにくい
ため、選挙は行わず選挙公報で立候補者を知らせている。

③中学生の自転車運転が不安定な理由

中学校から自転車通学が始まる生徒が多く、小学校では自転車に触れる機会が少ないため「中
学校デビュー」となり、運転が不安定で転倒・怪我が多い。

④学習内容の重複（鹿追ジオパーク）

小学校の理科でも、中学校1年の総合でも鹿追ジオパークを訪れるなど、学習内容が重複して
いる部分があることに気づいた。

◆短い時間ながら多くの情報を共有でき、教員同士が子どもを通してつながっている安心感を得ら
れた。憶測ではなく、生の声を聞くことの大切さが改めて確認された。

[取組の内容]

月	取組	月	取組
4	第1回推進委員会（18日） 部長・副部長選出 取組内容の確認など	10	
5	第2回推進委員会（13日） 16日（金）小中合同地域清掃	11	御影小中合同授業研究大会（11日）
6		12	第4回推進委員会（9日） 冬休みのきまり確認
7	夏休みのきまり確認	1	
8		2	
9	第3回推進委員会（16日）	3	

2025.05.08

令和7年5月16日(金) 4校時 (㊦11:30~12:15 ㊧11:40~12:30)

- ・通学地域のごみ拾いを通して、ボランティアの気持ちを育てる。
- ・小中一貫を見据えて、児童会と生徒会の交流を図る。

- ・御影小（5～6年生）+教員3名
- ・御影中（1～3年生）+教員2名

- ・地域清掃（ごみ拾い）
- ・合流地点での交流（写真撮影、各会長から一言）

中学校→★1100m 徒歩 15分

12:00 集合

【研修部】

[令和7年度活動報告]

(1) 授業実践交流

- ①小学校授業参観 ・ 7月15日・7月16日 ・ 12月 2日・12月 3日
・ 2月17日・2月18日

- ②中学校授業参観 ・ 7月 2日 ・ 12月11日

御影小中学校が目指す子ども像として「自分の考えを話す子ども・友達の話をよく聞く子ども～双方向型で話し合う姿～」と位置づけ、全ての教職員が共通認識のもと教育活動を行うことと確認し、各授業後、「自分の考えを表現できているか」「友達の話聞くことができるか」「児童生徒同士で意欲的に話し合うことができるか」について参加者からアンケートを取り、児童生徒の「話す力」「聞く力」を高められるよう、小中一貫教育を推進する。

<御影小中学校が目指す子ども像（まとめ）>

●双方向に学び合う子ども

御影小中学校では、「自分の考えを話す子ども」「友だちの話をよく聞く子ども」を育て、互いの意見を行き交わせながら学びを深める“双方向型の話し合い”を重視している。

この姿は、経済産業省が示す「社会人基礎力（3つの力）」

- ①前に踏み出す力（主体性・実行力）
- ②考え抜く力（課題発見力・計画力・表現力）
- ③チームで働く力（発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力）

および文部科学省の「主体的・対話的で深い学び」と重なるものであり、小中一貫でコミュニケーション力を育てることが重要であると確認された。

●授業参観・町研アンケートから見えた課題と気づき

質問項目

- ① 自分の考えを表現できているか
- ② 友だち話を聞いているか
- ③ 意欲的に話し合っているか
「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した理由
 - ・ 発言はできているが、周囲に気を取られ聞く姿勢が弱い場面があった
 - ・ 授業内容によっては話し合い活動が見られないことがある
 - ・ はい／いいえで答えられる発問が多く、理由を述べる機会が少ない

●保護者からの質問・意見と学校の考え

<低学年でも話し合いはできるのか>

- ・ 低学年は「自分の意見を主張すること」に偏りがち
- ・ まずは友だちの意見を聞く経験を積むことが大切
- ・ 全校で「対話活動の時間」を設け、ゲーム的に話す・聞く力を育成

<言葉の意味や定義の理解が必要では>

- ・ 語彙差が大きい低学年では特に重要
- ・ 算数用語なども含め、言葉の意味をそろえる指導が不可欠
- ・ 話し合いが広がりすぎないように、焦点化した発問が必要
- ・ 高学年では立場を明確にした話し合い（ディベート的要素）も可能

<ICT活用による考えの共有>

- ・ 画面共有は考えの広がり非常に有効
- ・ 「ノートで考える／クロムブックで考える」を自分で選ぶ授業が、主体的学習につながる
- ・ 日常的なICT活用の積み重ねがスキル形成に必要

<根拠をもって話すことについて>

- ・ 中学年以上では文章や既習事項を根拠に話す指導が中心
- ・ 低学年では生活経験を根拠にすることが多いが、意識づけは行っている

●研修部の見解（まとめ）

話し合いは、「異なる意見に出会い、比較し、考えを広げ深める学習活動」である。

しかし、各教科や行事で「話す・聞く」の技能が十分に活用されない形式的な話し合いで終わるといった課題も見られる。

御影小中学校では、

“実の場”で双方向に話し合い、話すことの楽しさや、意見を聞くことで考えが深まる経験を、9年間を通して積み重ねていくことを目標としている。

		指導事項
小学校	第1学年 及び第2学年	互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと
	第3学年 及び第4学年	互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと
	第5学年 及び第6学年	互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと
中学校	第1学年	話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして自分の考えをまとめること
	第2学年	相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること
	第3学年	話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと

(2) 学習規律

これまでの「御影地区 学習のきまり」を継続し、「令和7年度版」を作成し、御影小中学校の各教室に掲示した。また、児童・生徒・教職員対象にアンケートを実施して、学習規律に関する自己評価や定着具合を把握する。⇒1月末に集約

(3) 道徳の重点課題の設定

①アンケート結果から 小学校重点項目：B 感謝・B 親切・思いやり B 相互理解・寛容

中学校重点項目：B 思いやり・感謝 B 相互理解・寛容

各小中学校の重点項目を確認した。また、道徳の授業で使用するワークシートを共有し、小中9年間を通した、道徳の授業のユニバーサルデザイン化を目指した。

小・中学校のワークシートを確認。振り返りの項目など、小学校でも共通して使える部分があるのではないかと同様、12月末に教員対象にアンケート実施 ⇒ 集約中

(4) 御影小中合同研究大会

11月11日（火）に御影中学校で2つの授業公開（数学と音楽）開催。授業実践交流と同様に、授業を見る視点を共有し、御影小中学校の教職員が共通認識のもと、授業づくりを進める機会とした。⇒御影中の校内研修のまとめとして作成

[取組の内容]

月	取組	月	取組
4	第1回推進委員会（18日） 部長・副部長選出 取組内容の確認など	10	
5	第2回推進委員会（13日）	11	御影小中合同授業研究大会（11日）
6		12	第4回推進委員会（9日） 授業実践交流 2日・3日（小学校） 11日（中学校）
7	授業実践交流 15日・16日（小学校） 2日（中学校）	1	
8		2	授業実践交流 17日・18日
9	第3回推進委員会（16日）	3	

